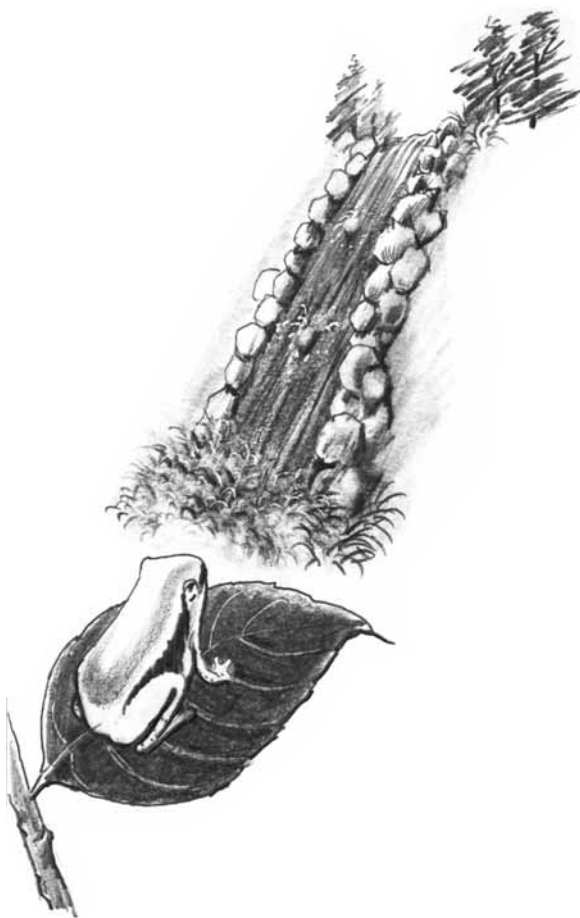
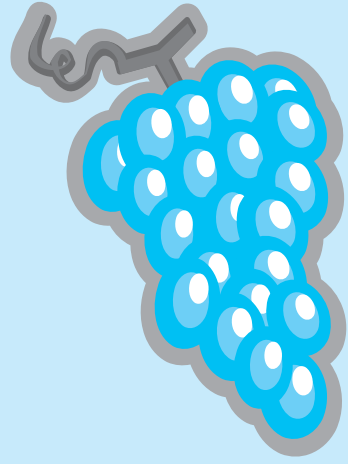


栃木市
大平隣保館

人権教育啓発情報誌

No. **122** 号

こがま



かまがね
みこなとみこな
わにならう



人権作文

「同じ」



栃木市立大平中学校
田中 凛 1年

みなさんはパラリンピックを知っているだろうか。パラリンピックとは、体の不自由な人達が行う、スポーツの世界大会のことだ。私は、テレビで偶然彼らを見た。たとえば、目が見えなかったり、車いすでしか行動できなかつたりする人がこの社会には大勢いる。しかし体が不自由である分、目が見えないなら耳で感じ、足がないなら手の力を使い、自分のいいところを探してがんばっている

のだ。私も最初はそう思った。テレビで見た時も、ただすごいなあと思っただけだった。

でも、もし私だったらと想像したことがある。体の障がいといえば怖いというイメージがあった。それに他の人がうらやましいと感じてしまっただろうとも思った。自分には無いものを他の人は持っている。それなのになぜ私にはないのだろう。そんな不公平だなどと思ってしまう気がした。でもそれは障がい者だけではない。今、病院で重い病気にかかってしまった人、手術をした人、これから受ける人、きっと他にもたくさんいる。私もその中の一人だ。

私は小学校二年生から小学校五年生までの約四年間病気になった。そして今でも体に手術の跡がくっきりと残っている。なぜ私なのだろう。他にも私ではない人がいるじゃないか、こずっと思っていた。しかし、私よりも幼くて重い病気なのに明るく、私を元気にしてくれた子がい

た。自分もその子のように誰かを元気づけられる人になりたいと思った。それと同じようにパラリンピックの選手たちもいつも誰かに支えられて応援されて、ここまでがんばってきたのだと思う。そしてその支えてくれる人の応援に答えるかのように、障がいをもっていてもみんなと変わらないんだよという素晴らしいことを体の自由な人に気持ちをぶつけて活躍しているのだと今は思う。

パラリンピックは昔、リハビリのために行われていたスポーツの大会だが、今では水泳はもちろん、バスケットボールや陸上、フェンシングなどいろいろな競技が増えてきている。ある地域では、車いすで行うバスケットボールのチームを作り、試合を行っているそうだ。パラリンピックで堂々と競技をする姿は、誰が見ても輝いていると思う。また、パラリンピックの生みの親であるグットマン博士は次のことを言った。「失われたものを数えるな。

残っているものを最大限に活かせ。」と。私も共感した。何かが無くても人間は皆同じだ。何かが無いんだといじけていたら、いつまでも自分に自信が持てないと思う。何かが無いのだったら探せばいい。そしてそれを活かして、自分に自信をつけ、人生を楽しめばいいと博士は言っているのではないか。

世界には色々な人がいる。その中でも自分自身を好きになり、自分があるのままでいられて、自分を支えてくれる人が大好きだと思える人は、最高にかっこいいと思った。これからもパラリンピックを応援したい。そして、この世界にいる人たちも応援したい。そして私も、彼らに負けないようがんばっていききたい。



「私の思い」

栃木市立大平南中学校 3年

宮^{みや}田^た将^{まさ}希^き



私は小さい頃から障がい者も参加できるキャンプに参加しています。中学生、高校生が小学生をサポートし、2泊3日のキャンプを行うものです。

キャンプには、小学生の参加者は八十人程度、スタッフは中学生、高校生、社会人をあわせて二十人参加します。参加者の中には小学生の時から参加を続けている人もいます。その中に障がいがありながらもずっとキャンプに参加しているA君という人がいます。年齢は私よりも上ですが、小学生でもできることができま

せん。A君がキャンプに参加するときは、スタッフの一人が付き添いをします。私は去年の夏、A君に付き添い、2泊3日を過ごしました。

キャンプの一日目は自然の中で遊び、参加者とスタッフの交流を深めます。A君はみんなと一緒に遊ぶことはできません。私とA君は、みんなが遊ぶ様子を眺めていました。そして、印象的なことがありました。それは夕食を自分達で作っていたときのことです。私は違うグループをまかされていたので、A君とは別行動でした。私は気が楽でした。A君がいなければ、もっと楽しく活動ができる。そんな事を思ってしまう自分でした。でも、夕食の時A君に付き添った社会人の人は違いました。A君と一緒にいるときも、他の人とのときも、誰に対しても、笑顔で変わらず接していたのです。私は思わず聞きました。なぜ、A君にそう接することができるか。スタッフの人は言いました。

「A君だつてみんなと変わらなく、感情を持っていて。A君が少し劣っているからといって、私達スタッフが違う接し方をすれば、A君だつて悲しいし、自分もいい気持ちにはならない。だから、みんなと同じように接してあげることが大事なんだ。」

私は自分の言動を思い返しました。できないA君にいらだったり、A君をさげたり、A君にひどいことをしてしまつたと後悔しました。

そのことがきっかけで次の日、私の考えは変わりました。A君ができないことを、できるように工夫し、A君に積極的に声をかけるようにしました。A君にも笑顔が増え、他のみんなと変わらずに接することができるようになりました。前日のモヤモヤしていたのもふつとび、お互いにとても気持ちのいい一日を過ごすことができたのです。

そうすることで最終日には、みんなと遊べなかつたA君がみんなと仲良く遊ぶことができるようになりま

した。私は、なんだかとてもうれしい気持ちになりました。その後A君の母親がおかえに来て、お礼を言われました。私はキャンプに参加してよかつたと思いました。

2泊3日のキャンプでは障がい者の事を深く考えるきっかけになりました。近くで障がい者を見かけると、いままでは避けていました。でも今は違います。障がい者の人がいても、他の人と変わらないように、困っていれば、手をさしのべる。そして、私だけでなく、すべての人が私と同じ思いを持ってくれるようになってほしいと感じています。



「こだま」の配付について

この人権教育啓発情報誌「こだま」は、昨年度まで、大平地区全戸に配布してありましたが、今年度から、人権に関する情報を広く市民の方に触れていただくため、市内全域に回覧させていただくこととなりました。

配付を希望される方は、お手数ですが大平隣保館にご連絡ください。

皆様に愛される情報誌を目指して発行していきますので、今後ともよろしく願いいたします。

平成25年4月から、市の機構改革に伴い大平隣保館に勤務する職員が下記の6名になりましたので、よろしくお願ひします。

- 生活環境部 人権・男女共同参画課
大平隣保館長 渡辺
大平隣保館の担当 吉羽
生活指導員 福地
- 教育委員会 生涯学習課
集会所の担当 縫田・山崎
社会教育指導員 高岩

【人権啓発活動】

◎小学校で『人権の花』の贈呈式を行いました。

「人権の花」運動とは、人権擁護委員を中心とした栃木・真岡人権啓発活動地域ネットワーク協議会による活動であり、児童が協力しあいながら花を育て、鑑賞することによって、情操をより豊かにし、人権に対する理解を深めることを目的としています。



大平西小学校にて花を手渡し



赤津小学校にてみんなでパシヤリ

今年度は、5月28日から6月19日にかけて市内7校の小学校で「人権の花」の贈呈式が行われ、人権擁護委員から、マリーゴールドやベゴニアなどの苗が児童たちに手渡されました。この活動を通して一人でも多くの児童が、自分の中で、優しい心や相手を思いやる心が芽生えて大きく成長されることを願っています。



◎人権擁護委員の活動を紹介します。

人権擁護委員とは、人権擁護委員法に基づいて法務大臣から委嘱された非常勤職の人たちで、市内では26人の方が人権擁護委員に委嘱されています。

委員の主な活動内容は、人権に関する相談を受けたり、法務局と連携して人権侵害による被害者を救済したり、学校や会社などで啓発活動を行ったりしています。



人権擁護委員による人形劇のようす

りんぽかんまつり

3月上旬というのに暑いぐらいの晴天に恵まれた3月10日(日)大平隣保館において、毎年恒例となった「りんぽかんまつり」が、利用団体の協力のもと盛大に開催されました。多くの来場者を迎えて、隣保館利用者による実技発表や人権擁護委員による人形劇などが披露され、地元自治会によるもちつき即売や部落解放同盟栃木市協議会による模擬店には長蛇の列ができました。



フラダンスの披露



力強くもちつき



わたあめを持ってニッコリ



啓発物品を配布中

大平隣保館からのお知らせ

【夏休み子どもイベント】

大平隣保館では、夏休みの子ども達を対象にしたイベントを開催しますので、みんなで参加してください。

◎『親子体験教室』レザークラフトでキーホルダー作りを体験しよう。

革の表面に好きな模様や名前を彫り込んでオンリーワンのキーホルダーを作ってみよう。



子ども達はフクロウのキーホルダーを作ります

◇日時 8月7日(水) 午後1時30分～

◇場所 大平隣保館 2階 教養娯楽室

◇定員 15組(先着順)

◇参加費 材料費500円/個

◇申込み 8月2日(金)まで

◇対象者 小学生と保護者

(高学年児童は1人でもOK)

◎『子どもお楽しみ劇場』楽しい理科の実験と映画を上映します。



「子どもお楽しみ劇場」では、みんなでお楽しみ学べる理科の実験を行った後、DVD映画「フレンズ ものけ島のナキ」を上映しますので、みなさん遊びに来てください。

◇日時 8月9日(金) 午後1時30分～

◇場所 大平隣保館 1階 多目的ホール

◇参加費 無料

◇申込み 申込みは不要ですので、当日ご来館ください

「フレンズ ものけ島のナキ」

2011年に製作され、スマップの香取慎吾が声優を務めるなど当時話題となったCGアニメ映画。

ものけ島に一人の人間の赤ん坊「コタケ」が迷い込んでしまう。赤鬼のナキと青鬼のグンジヨは、コタケの面倒を見ることに。最初はケンカしてばかりだったナキとコタケだったが、かけがえのない友達になっていく…。

【隣保館主催教室】

大平隣保館では、次のとおり主催教室を開催しますので、興味のある方は、お気軽に参加してください。

◎『健康セミナー』の受講生を募集します。

からだの健康や美容・ダイエットに関する講話と体操を組み入れた「健康セミナー」を開催します。いつまでも健康で美しい身体を目指して、参加してみませんか。

- ◇日時 別表をご参照ください
午前10時～11時30分
- ◇場所 大平隣保館
多目的ホール
- ◇募集人員 30名（先着順）
- ◇参加費 無料
- ◇申込み 8月20日（火）～
- ◇講師 栃木県健康管理士会
佐久間辰雄氏
上野 和子氏

| 回 | 開催日（火曜） | 内 容 |
|----|---------|-------------|
| 1 | 9月 3日 | 講話：食品添加物 |
| 2 | 9月 17日 | 講話：美肌・ダイエット |
| 3 | 10月 1日 | 体操：ストレッチ |
| 4 | 10月 15日 | 講話：風邪と栄養 |
| 5 | 11月 5日 | 講話：糖尿病 |
| 6 | 11月 19日 | 体操：ストレッチ |
| 7 | 12月 3日 | 講話：コレステロール |
| 8 | 12月 17日 | 講話：食事の仕方 |
| 9 | 1月 7日 | 体操：ストレッチ |
| 10 | 1月 21日 | 講話：元気に生きる |

◎短期『大正琴教室』の参加者を募集します。

初心者を対象にした大正琴の短期教室を開催します。大正琴は、数字の書かれたボタンを押して演奏する楽器で、楽譜の数字も大きく書かれているため、子どもから高齢者まで年齢に関係なく楽しめる楽器です。この機会にぜひ、参加してみてください。

- ◇日時 9月6日・20日（金）
10月4日・18日（金）
11月1日・15日（金）
午後1時30分～3時30分
 - ◇場所 大平隣保館
2階 教養娯楽室
 - ◇募集人員 12名（先着順）
 - ◇参加費 無料
 - ◇申込み 8月1日（木）～26日（月）
- ※楽器類は貸し出しいたしますが、数に限りがありますので、用意できる方は持参してください。





順調に生育中のグリーンカーテン

節電にご協力ください

大平隣保館では、夏季期間中（7月～9月）の電力量を一昨年比15%削減することを目標に、グリーンカーテンを設置し、エアコンの設定温度を上げたりするなど節電対策を講じています。

利用する皆さんにとってご不便をおかけしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

こだまNo.121号掲載記事の訂正とお詫び
平成25年3月に発行しました「こだま」No.121号の2頁「人権作文」の作品提供者 梶原水露さんの学年に誤りがありましたので、深くお詫び申し上げます。「大平中央小学校6年」と掲載しましたが「大平中央小学校5年」が正しい内容ですので、訂正します。



おじいちゃんたちと大平南第2保育園の園児たちによる交流会での様子

◎『榎本ふれあい交流会』で園児と交流会を行いました。

「大平集会所教室の受講生を募集しています」

大平集会所（榎本・伯仲・真弓・西水代・富田の5館）では、各種教室の受講生を募集しています。受講料は無料ですが、材料代等の費用が掛かる教室もあります。

| 集会所 | 女性 | 料理 | ダンス | カラオケ | 民謡 | 民舞 |
|----------|----|----|-----|------|----|----|
| 榎本・伯仲・真弓 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 西水代・富田 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

集会所ごとに開催日時等が決まっていますので、興味のある方は、大平隣保館（TEL 43-6611）まで問い合わせてください。

厚生センターからのお知らせ

【催し物案内】

厚生センターでは、毎年、夏休みと冬休みにすてきなイベントを計画しています。

ぜひ、参加してね！

☆いままでの内容

- ・エコバッグ作り
- ・マイプラネタリウム作り
- ・バルーンアート
- ・シャボン玉に入ってみよう！
- ・みんなで楽しむ「お話し会」
- ・とってもおいしい「お食事会」
- ・人権に関するビデオ上映
- ・うれしいお土産もあります！！



※市の広報やホームページでお知らせしますので、よろしくね！

【厚生センター自主講座】

布ぞうり作り

厚生センターでは、古布を再利用して、履き心地が抜群のうち、足からの健康にも効果がある「布ぞうり作り」を開催しました。



日本の伝統工芸である「ぞうり作り」は、手先を使って編むことで脳の活性化につながり、健康や環境への理解も深まります。

【人権出前講座】

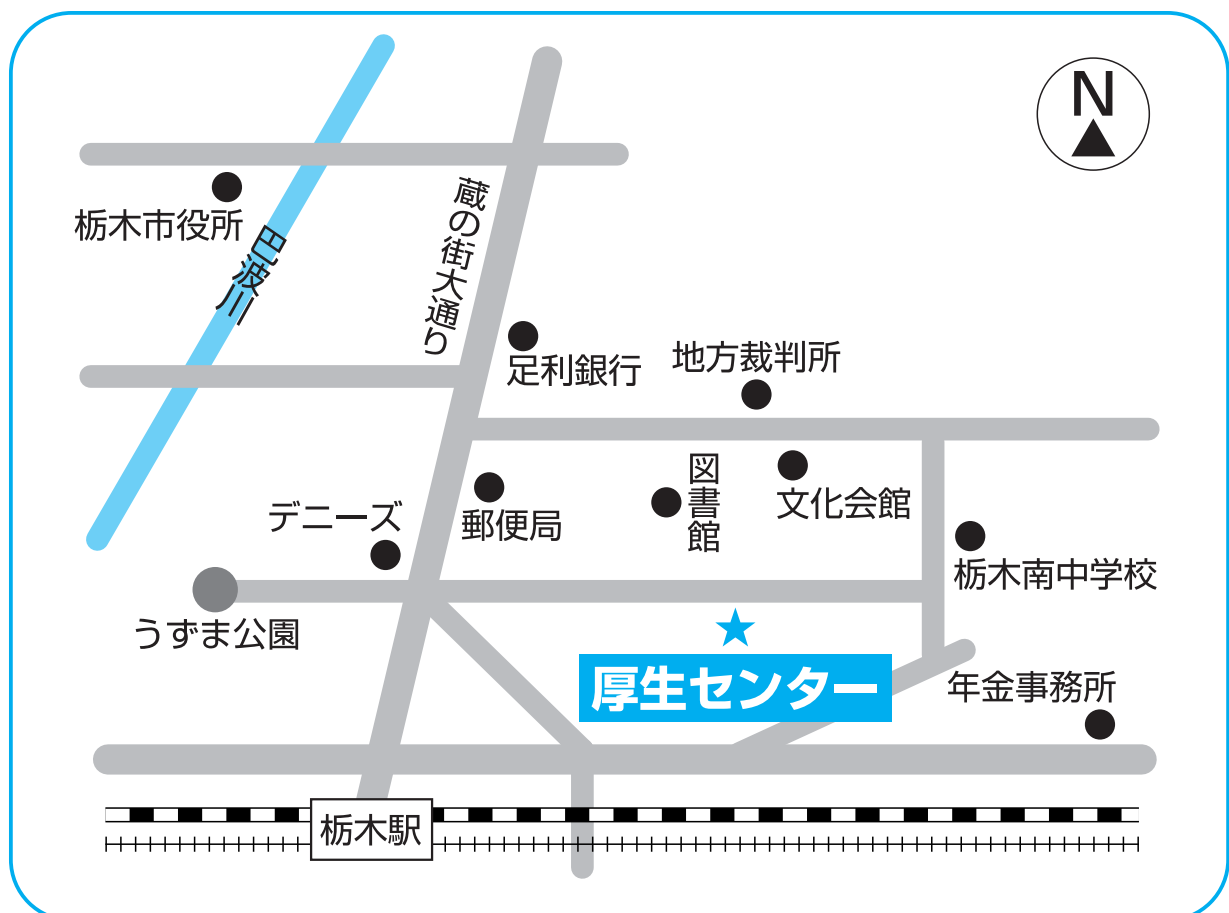
市職員が講師となって各会場に出向きます。
30分から90分の範囲で、ご希望に合わせて調整いたします。

「人権」って、言葉は聞いたことあるけど、よくわからない…、そんな時は、講座を出前いたします！

お問合せは、厚生センター
☎24-2444までお願いします！！



位置図 厚生センター 栃木市旭町9-7



【隣保館相談事業】

大平隣保館では、市民を対象に日常生活における様々な困りごとに関する相談を常時受け付けております。また、法律や年金に関する相談、言葉が通じないなどで困っている外国人の方の相談も次のとおり日時を指定して相談窓口を開設しております。どこに相談したらよいのか分からない場合でも、お気軽にご相談ください。隣保館で対応するほか、適切な機関をご紹介します。

法律相談

2か月に1回、日常生活における法律全般に関する困りごと等について、弁護士の方が相談に応じます。今後の相談日は次のとおりです。相談は予約制ですので、希望される方は事前に大平隣保館へご連絡ください。

- ◎相談日 9月19日(木)
11月21日(木)
- ◎相談時間 午前10時～正午まで

年金相談

年金の専門家による相談窓口です。年金についての相談を希望される方は、次の相談日に大平隣保館へご来館ください。

- ◎相談日 8月20日(火)
9月10日(火)
10月8日(火)
11月12日(火)
- ◎相談時間 午前10時～正午まで

外国人相談

日常生活の中で、言葉が通じないために困っている外国籍の方の相談窓口です。日本語講座と併設しており、通訳を通して相談を伺いますので、次の相談日に大平隣保館へご来館ください。

- ◎相談日 8月17日(土)
9月21日(土)
10月19日(土)
11月16日(土)
- ◎相談時間 午後8時～10時まで

表紙絵 絵手紙教室 根本晴夫さん
語 大平南小3年小川真歩さん



生活相談や
困りごとは
大平隣保館へ

電話でのご相談はフリーダイヤルで

よろしくなやみなし
0120-46-7830

(平日午前8:30から
午後5:00まで)